



2014年12月25日発行 第21号
NPO法人葉山まちづくり協会
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内1874
町立図書館2階
TEL&FAX 046-876-0421
e-mail: office@hayama-npo.or.jp

葉山まちづくり協会 検索

新年はカラダを動かし 毎日を元気に、笑顔で！

体操で身体を動かすことは運動効果が得られるだけでなく、気分転換で心のリフレッシュにもなります。長く続けて心身ともに健やかな毎日を過ごしましょう。



健康になるスイッチオン
水面を泳ぐ魚のように「口をぱくぱくする」ことで、首のまわりに集まる迷走神経が刺激さへくして、からだの声を耳をかたむける。快身・快心の健康生活を目指す。



一緒に
ゆらゆらぱくぱく
楽しみましょう

自 日本でも育った健康体操

31の動作は頭の先からつま先まで動きほぐし、体のゆがみを整える簡単ストレッチ。動作は弾みをつけてその反動を利用して、一見はげしいように見えても実際にはそれほどエネルギーを使わない。体力の弱い人でもできる。



自 彊術教室

月曜：一色岡会館
火曜：木ノ下会館
水曜：堀内会館
木曜：一色会館（森山神社）
金曜：逗子会館（逗子郵便局前）
いずれも10時～11時半
☎046(875)3456
自彊術普及会 鈴木 啓子

見学自由ですので
お気軽に
お越しください！

口ぱくぱく体操

次回：平成27年1月24日（土）
葉山図書館2階和室 10時～14時
（※概ね毎月末に1回開催）
☎03(3319)2213
E-mail: info@balance-t.com
風楽自然医療研究所 齋藤真美子

無農薬、有機栽培の地域農業の試み 湘南国際村に5ヘクタールの大農地「森と畑の学校」

顧問の伊瀬知成好さんに「とにかく来て。素晴らしい景色と空気を味わって！空気のものが財産なのだから」と言われ訪ねた。『百聞は一見に如かず』とにかく広い！晴れた日には海の彼方に伊豆半島まで見えロケーションは抜群！それは湘南国際村のめぐりの森の中にある。山に囲まれた約5ヘクタールの土地を開拓し、畑として地産。利潤があまり人を雇用できるような農業のモデルを作る事を目標としている。取材日、採り立てのルッコラ、小松菜、からし菜を試食させてもらった。香りが口の中でブーンと広がっていくも食べているのはまったく別物だった。

山を開墾して出来た畑には年間150種類の作物を栽培し、つねに20～30種類の収穫をめざしている。主に葉山のレストラや海の家におろしているが、一般の方も新鮮な旬の好きな野菜を自分で摘み取り買うことが出来る。いちばん新鮮なスーパーマーケットといえるだろう。

12月からは里芋、大根、小松菜、ほうれん草、春菊、ターサイ、レタス、サラダ菜、ねぎなど旬の野菜、もちろんじゃがいも、人参なども揃えている。ここの野菜は有機野菜なので味が濃く、無農薬である。殺虫剤を使わないと野菜自身が

珍しい「スイスチャード」
スープなどに



3頭のヤギが出迎えてくれる！



生ごみから堆肥作り

常に虫に食べられないように抗酸化作用し、免疫力をアップ、老化防止になると言うから驚きである。野菜も育つ環境により違うのだ。

日本の農業の跡継ぎは平均年齢が66歳、このままだと先細りは目に見え耕作地が減ってしまうのは明らか、まずは農地を維持することが大事！

地域の作物を食べ、地域の農業を支え、何十年もかけて農地を作って行かないといけない。

「皆に若返ったと言われ、夜はぐっすり！生まれて始めて筋肉が付くことが分った」と伊瀬知さん。いろんな方の知恵や力を借りて大きな力にしたいので自然の中で身体を動かしたい、農業体験をしてみたい方、農業にまつわる行事を計画しているとのこと、ぜひ一度足を運んでみよう。

町制施行90周年を記念して



販売所：葉山まちづくり協会
葉山町役場売店
文教堂書店葉山店ほか
価格：¥1500

本書は、葉山町の成り立ちから現在までを全二九六頁カラー印刷によってまとめたものです。

冒頭には葉山の名所、自然、暮らしなどをグラビアとして配置いたしました。本編には葉山の歴史を「原始・古代」「中世」「近世」「近代」「現代」と時代順に区分し論述してあります。

ついで、本編に述べられていない町内の「寺社・教会・伝説」と一色ノ下山口に至る町内6地域の「小字・小地名マップ」、「石碑・歴史巡りマップ」を収録いたしました。脚注にも典拠を入れ、巻

ご寄付のお願い 葉山まちづくり協会 代表理事 伊東進

今回当葉山まちづくり協会の活動をいっそう前進させ、より充実したものにしていくために、皆様方のお力をお貸しいただきたくお願いする次第です。

現在葉山まちづくり協会のもとに30を越える団体が登録し葉山の生活と文化を過去から受け継ぎ、より良いかたちを創り上げようと努力し、住みよいまちづくりを目標に次の世

代世代に伝えてゆく活動を展開してまいります。しかしながら、町との協働事業を推進するにあたって協会の財政状態は十分ではありません。

つきましては皆様のご協力を得て、さらにこれらの活動を推進してゆきたいと存じます。この趣旨を何卒ご理解いただき、ご寄付をお願い申し上げます。

末には、今後さらに精しく葉山の歴史を学ばれる方のために「参考文献」を時代区分ごとに載せました。

本書の執筆陣は概ね葉山郷土史研究会会員が担いましたが、その記事の多くは『郷土誌葉山』（全10号）をベースにしつつも、今回新たに書き下ろしたものです。この1年半での編集作業は62回を超えましたが、専門家にも校閲（校正）をお願いしました。また、県内、他市町村にない本書最大の特徴と誇りは、葉山御用邸の歴史です。宮内庁書陵部のご協力を得、誤記のなきよう務めました。

どうか皆様、二〇一五年一月一日発行の『葉山町の歴史とくらし』をご参考にされ、町制90周年をお祝ください。

葉山町町史編さん委員会 委員長 矢嶋道文

醍醐味は 葉山の初釣り



「無心になつて待つのがいい」「あたった瞬間の感覚が忘れられない」これが釣りの醍醐味だそう。

葉山は海に面した町である。海の幸は豊富で、ワカメ・しらすなどは町の人も身近な食材となっている。そして、真名瀬ではメジナ・クロダイ・カワハギ、葉山港ではカツオ、森戸海岸ではキスやカレイなどが釣れる。時期によってはアオリイカ、名島近くまで行くといシダイなども釣れる。

天気の良い日に真名瀬漁港へ行つてみた。堤防に座り、糸をたらず釣り人がたくさんいる。前方には名島と鳥居が見える。堤防下の海水は透き通っている。潮の香りが鼻をくすぐる。



釣り人に話を聞いた。魚が釣れるのは潮の動きがある時、南風の時がいいそうだ。釣りの道具やエサは、狙う魚の種類によって違う。

その人はメジナを狙っていた。堤防から投げて25cm、30cmのメジナが釣れる。見ている間にもすぐに釣れたが、小さかったため海に戻した。資源を大切にするため、25cm以上は持ち帰るが、それ以下は放すそうだ。そこが流儀であるらしい。

狙った魚を求めて同じ場所に釣りに来るうちに釣り仲間が出来る。その場所だけの友人だそうだが、まるで昔からの知り合いのように楽しそうに話している。そこにいる時間、すべてが心地よく、釣りの魅力は魚を釣ることだけではないと感じる。

新しい年に釣りを始めてみようか。静かに糸を垂らして葉山を過ごす。こんな新年の迎え方もいい。

葉山で紅一点 海で輝く真名瀬の女漁師 畠山 晶さん

女漁師の畠山さん、2013年の4月、一年間の修行期間が終わり独立し「桜花丸」の船主である。

女の子なのになぜ？葉山で生まれ育ち海は好きだったが初めから漁師になりたかったわけではない。きっかけは



本日の収穫！

鎌倉の女の漁師さんのお手伝いをしていたある日、彼女は「漁師は女の人でも出来る、晶ちゃん漁師になり

たい？」と突然問われ「やりたい！」と答えた時から漁師の道にまっしぐら！現在、葉山には百一名の漁師がいて平均年齢は66歳。

「将来を考えるとずっと若い人たちに興味を持ってもらい、なって貰いたい」と晶さん。稚魚は獲ったら海にかえしてやり獲るだけではなく育てる漁業を目指し、漁業を通して町を活性化したいと思っている。

漁師というとはほとんどの時間海にいてと思われがちだが、さしあみ漁なので実は海に出ている時より網の清掃や頼まれたお店への配達の方が多い。網の清掃や手入れは漁師の基本で時間がかかる。

葉山の海は、サザエ、あわび、伊勢えび、わかめやひじきなどがあるがほとんど地元では食べられない。「葉山で取れた美味しい海の幸を葉山の人たちに食べてもらいたい」と去年の12月より漁師仲

感性が目覚める 三浦半島の古寺巡り

今年の4月から1ヶ月間、三浦半島に点在する三十三のお寺が12年ぶりの本開帳を迎え、普段目にするのできない仏像や観音堂を拝観しに多くの人々が訪れた。特別な時でなくてもお寺参りはいつも厳かで、自然と敬虔な気持ちになる。かといって深い信仰心を持って参拝しなければいけないか、となるとなかなか足が向かない。決してそうではない、三浦半島の豊かな自然と歴史散策を楽しむつもりでお寺巡りを始めてみる。行く先々でお寺や土地の歴史を知り、自然に触れ近隣の人々やお寺の住職らとの交流なども楽しめるだろう。

三浦半島三十三観音のお寺を訪ねるに

は車ではなく徒歩で行くことをすすめる。多くは細い道や行き止まりの先にあってちよつと見つけにくい。でもそれも悪くはない。地図を片手にのんびり歩き、迷ったら人に道を尋ねる。生い繁る木々の間の細い道を抜けた先や小高い丘の上に目的のお寺を見つけたときにはきつと、導かれてやってきたような清らかな気持ちになり、心を静めればお堂の中に凜として居られる観音様とご縁が感じられるだろう。

山門やお堂の見事な彫刻やこて絵（漆喰の装飾）にも目を向けてほしい。細部まで美しく彫刻や色付けが施されており、古美術鑑賞をしているかのようにしばし見惚れてしまう。お寺の彫刻の多くは龍が描かれているが、火事になったときに龍が水を吐いて火を消し止めてくれるといういわれや雨乞いの意味があるらしい。

多くの寺は開山が室町時代から安土桃山時代、江戸の時代。悠久の時を経てい

ま在ることを思うと、先人たちが同じようにここで静かに手を合わせていた姿が頭に浮かんでくる。彼らの目に映るここからの風景はどんなものだったのだろうか、何を願っていたのだろうか、そのときの暮らしはどんなだったのだろうか；そんなふうに思いを馳せるのも興味がある。

いまの時期に三浦半島を周って目にする風景は、青い空を背景に葉の緑と黒土の濃さが鮮やかなダイコン畑、相模湾と冠雪姿が美しい富士山、やや風の強い日には瑠璃色の海面に白波が立つ東京湾越しに房総半島。こんなふうに大地と海を一望にくつきりと時には潮の香りを感じながら眺められるのは、空気が乾燥して澄んでいる冬だからこそ味わえる贅沢。

寒い季節の外歩きは敬遠しがちだけれど、冬から春へ季節の移り変わりを時には五感で感じながら出かけてみる。お寺巡りを重ねるうちにきつと自分の心も冬の青空のように広く、澄んでいくことに気がつくだろう。



去る10月25日(日)、当協会主催の第3回葉山ウォークで上山口を歩いた折、観正院のご住職の計らいで思いがけず十一面観音像を垣間見ることができた。運慶作と言われるそのお顔は見る者をふつと楽にするゆったりとした笑みをたたえていた。

写真提供 鳥居信吉さん

[DATA]
葉山町内にある三つの札所
第24番 海宝寺(鍔摺)
第25番 玉蔵院(一色)
第26番 観正院(上山口)
「三浦三十三観音霊場」で検索
<http://www.m33k.net/index.html>

葉山難読漢字

葉山に住んでいても読み書きができない地名などありませんか？そこで、難しい漢字を集めてみました！一問10点。さあ、あなたは何問解けるかな？

★読みがなを書きましょう

- ① 入生橋 ()
- ② 落雁橋 ()
- ③ 御霊神社 ()
- ④ 鍔摺 ()
- ⑤ 主馬寮橋 ()

★漢字を書きましょう

- ① ながえ
- ② さんけ
- ③ しん
- ④ は
- ⑤ しゅうぎん

※答えは2ページをご覧ください